

ふれあい情報誌

2024

44号

2024.10発行

# みなみの

Hospital Medicine Magazine Minamino



- 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について
- 在宅医療について
- 市民公開講座のご報告
- 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について



医療法人仁寿会

南野病院



基本理念

患者様に安全と安心と満足を提供します。

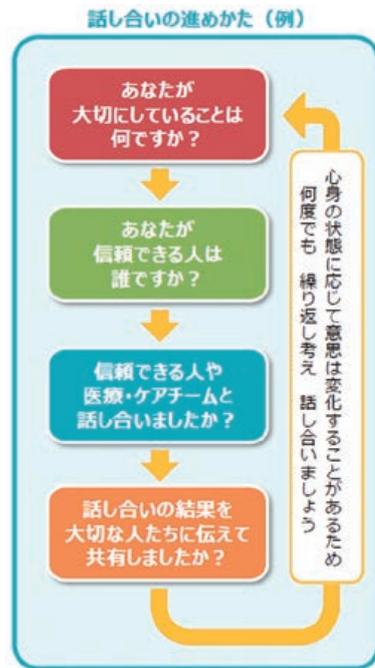
# 人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)について

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。

将来の医療・介護に備えて自分の希望を事前に考え、家族や医療者と共有するプロセスです。本人の意思を尊重し、定期的な意見交換を通じて気持ちの変化にも配慮します。

大村市では、元気なうちから「人生会議」を行えるアイテムとしてアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の手びきが作成されています。また、これまでの人生の振り返りや、「これから」の人生を描くツールとして役立つために大村市版人生ノートも作成されています。



大村市では ACP を推奨しています

## アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の手びき (大村市内共通仕様)

「あなた」や「大切な人」の「もしもの時」に備えて、話し合ってみませんか？

どんなに医療が進歩しても、私たちの「いのち」はいつかは終わりを迎えます。最期まで自分らしきをもって生き抜くため、自分の最期は自分で決めたいという人が増えてきています。

### 1. 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」とは？

終末期の意思決定・・・自分にはまだ関係ない、できれば先延ばしにしたい、とお考えの人も多いと思いますが、実際にその時が来たら冷静に考えられない、話し合いもできないことが多いようです。「もしもの時」に自分の意思を最大限尊重してもらうために、その時に受けたい医療などを、元気なうちに家族や担当の医師などの専門職と「常日頃から」話し合いを持ち、その内容を共有して書面に残し、定期的に見直しを行う・・・

この事前に話し合うことを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」といいます。周りの人に「自分らしい生き方」を理解してもらうための話し合い、といえます。そして書き記しておきましょう。

話し合いの時期は・・・

- ① 元気で時間的余裕がある時
- ② 病気が悪化した時
- ③ 死期が迫った人生の最終段階、この3つがあります。



「エンディングノート」や「終活」などは、①の時期に作られるものです。

この3つの時期に話し合いを持つことで、あなたの意思決定が揺れ動くものであっても、支える側があなたの思いを理解し、あなたの意思決定を最期まで尊重することが出来るのです。

また、脳梗塞、交通事故などで、突然意識不明の状態に陥った時や、認知症が進行し、自身の判断能力が著しく低下した時などは、第三者による代理決定が必要になります。

この代理意思決定者を選ぶことも、ACPの中でとても重要です。



ACPの手びき



人生ノート



## 在宅医療について

院内外が多職種で連携を図り、患者さんの在宅療養のお手伝いをします。

### ◇対象となる患者さん

通院が困難な方、寝たきりや認知症で介護、支援が必要な方、終末期の療養を自宅で受けたい方などが利用可能です。

### ◇当院の取り組み

#### 訪問診療

医師、看護師が定期的に自宅へ訪問し、診療を行います。退院後の患者さんには病棟看護師も同行します。

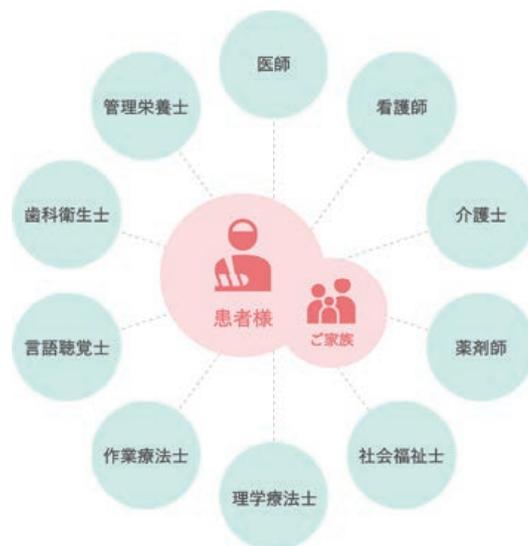
#### 24時間連絡が取れる体制

心配事やお困り事があるとき、夜間や休日いつでも相談が出来るような体制を整えています。

#### レスパイト入院

患者さんやご家族の休養を目的とした短期入院です。レスパイト入院を上手に活用することで、長く在宅生活が送れるように支援しています。

「住み慣れた安心できる場所で、出来る限り長く」をモットーに、これからも患者さんやご家族が、安心して在宅での生活を継続出来るようサポートしていきます。入院中の方はもちろん、外来通院中の方もお気軽にご相談下さい。



## 市民公開講座のご報告

9月14日（土）ミライon図書館にて、市民公開講座「緩和ケアとは何ですか？」を開催しました。

第1部は「緩和ケアとは何ですか？」と題し、院長南野淳が講演を行いました。緩和ケアというと痛みを取ることがメインに思われがちですが、その先に本人のやりたいことを考え、実行するための環境を整え、人生を豊かに生きる手段として緩和ケアがあるということ、市民の方々に理解していただきたいとの願いのこもった講演となりました。



第2部はハンドマッサージ体験と相談コーナーを行いました。



相談コーナーは、緩和ケア認定看護師、医療ソーシャルワーカー、外来看護師がご相談をお受けし、リハビリセラピストと医事課職員も必要に備え待機しました。

ハンドマッサージ体験は看護師とリハビリセラピストで行いました。職員からは「緊張したが、参加者から『気持ちよかった。』と言っていただき、安心した。」「手と手がふれあうことでリラックス効果や安心を感じて

いただけると改めて学ぶことができた。」との声があり、職員にとっても学びの場となりました。

また、大村市医師会在宅医療サポートセンターから「ACP（人生会議）の手引き」について、大村市地域包括支援センターから大村市版「人生ノート」についてご案内いただきました。



公開講座は初めての試みでしたが、第1部・第2部ともに定員を超えるお申込みを頂きました。今後も市民の方々のよりよい日々の一助となれるような催しを、開催していきたいと思っております。

# 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

令和6年8月から、大村市で带状疱疹ワクチン接種費用の助成事業が始まりました。

带状疱疹は、子どもの時に罹<sup>かか</sup>った水ぼうそうのウイルスが体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレスなどで免疫機能が低下した時にウイルスが活性化して発症します。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。

带状疱疹ワクチンには2種類ありますが、そのうちより予防効果の高い不活化ワクチンが助成対象となります。不活化ワクチンによる発症予防効果は、接種後1年目で97.7%、6年目で88.5%、10年目で73.2%、免疫の持続期間は10年程度といわれています。

## 【大村市による带状疱疹ワクチン接種費用助成事業】

**助成対象** 接種日時点で大村市に住民登録がある満50歳以上の方で、これまでに助成を受けたことがない方

**助成金額** 2回接種1回につき接種費用の6割(上限12,000円)

※詳細は大村市役所のホームページなどでご確認ください。

接種料金は医療機関ごとに異なります。

予約および費用は、市内の指定医療機関にお問い合わせください。

当院の接種料金は1回あたり21,000円です。

対象となる方の自己負担は1回9,000円となります。

# みんなのみなみの!?

Vol.2

制作:事務部



医療法人仁寿会  
**南野病院**

〒856-0826  
大村市東三城町33番地 TEL.0957-54-8800 (代) FAX.0957-54-8755  
療養病棟/回復期リハビリテーション病棟/緩和ケア病棟  
健診部TEL.0957-54-5551 FAX.0957-54-8755  
通所リハビリテーション/訪問リハビリテーション **ゆ〜かり**

有料老人ホームほほえみ TEL.0957-47-8601 FAX.0957-47-8632  
デイサービス ゆ〜かり TEL.0957-47-8606 FAX.0957-47-8607  
ヘルパーST オリーブ TEL.0957-47-8857 FAX.0957-47-8858  
居宅介護支援事業所 **コアラ** TEL.0957-53-3731 FAX.0957-53-3732  
みなみの保育園 TEL.0957-56-8812 FAX.0957-56-8821

診療科目 ●内科 ●消化器科 ●放射線科 ●循環器科 ●リハビリテーション科  
受付時間 月曜～金曜8:30～12:00



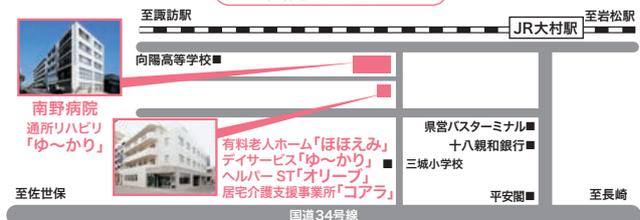
南野病院

検索

ホームページ

<https://www.minamino-hosp.jp/>

## 交通アクセス



## 駐車場のご案内

### 交通のご案内

- 県営バスターミナルより徒歩2分
- 大村駅から徒歩3分

